

努力があるから、
手に入ったときに喜びになる。
努力をして成功したときにはじめて、本当の幸せを
実感できるものなんです。

17歳でヨーロッパに飛び立ち、海外を拠点として戦ってきた小林可夢偉さん。速さと思い切りの良いドライビングはF1でも認められ、独力で走り抜いてきました。今年、12年ぶりに日本に戻り、スーパーフォーミュラ[※]に参戦。葛藤や試練を乗り越えて新たな道を歩む小林可夢偉さんの想いと人柄にせまりました。

※全日本選手権スーパーフォーミュラ。フォーミュラ・ニッポンを引き継ぐ形で2013年にスタート。日本国内最上位の自動車レースカテゴリー。



レーシングドライバー

小林可夢偉

K A M U I K O B A Y A S H I

1986年9月13日生まれ。兵庫県出身。9歳のときにカートをはじめ、1996年にカートレースデビュー。2001年にフォーミュラ・トヨタレーシングスクールのスカラシップ生に選出され、翌年、フォーミュラ・トヨタ・シリーズに参戦する。2008年からF1直下のカテゴリーであるGP2シリーズとGP2アジアシリーズに参戦し、日本人初の優勝を果たす。2009年にトヨタF1チームから、ブラジルGPでF1デビュー。レースを重ね、2011年には日本人獲得ポイント記録と日本人連続入賞記録を更新。2012年、日本GPでは3位表彰台を獲得した。2015年、日本に戻りスーパーフォーミュラに参戦。

ばつと見が全然違う！
こんなにキレイになるとは
思わなかった！

普段乗るクルマは利便性で選びます。このミニクーパーは3ナンバーで軽自動車より一まわり大きいくらいの規格なので、東京都内のパーキングには最強ですね。

コーティングははじめてやったんですけど、こんなにキレイになるとは思わなかった！ばつと見、全然違いますもん。ステッカー部分の細かいキズも消えるし。窓ガラスも水がえらい弾くし、なんじゃこれ〜！と思いましたよ。ワイパーいらんのかなってびっくりました。汚れても、雨が降ったら流れちゃうんですよね。すごい！もっと早くやれば良かったと思いました。



小林可夢偉さんの愛車にはクリスタルキーパーを施工。特にステッカー一部分に細かいキズがあったものの、キレイになりました！クルマを見た途端「うわ、すごいキレイ！」とじっとり塗装の様子をチェック。「見違えましたわ〜」と嬉しそうなお表情を見せてくれました。

ビジネスに成功する人は、
クルマも部屋もキレイ

日本に帰国して、日本のクルマってキレイだと改めて感じました。海外ではコーティングどころか洗車もほとんどしないですよ。特にヨーロッパはダメですね。クルマは汚くて当たり前だと思ってるし、バンパーなんて当てるもんだと思っってますしね（笑）。たぶん洗車専門店はないんじゃないかな？ガソリンスタンドの洗車場かセルフ洗車しかないし、しょぼい。日本のコーティングは水弾きが特にすごくて、レベルが高くなって思っています。

僕はクルマにしても、部屋にしても、汚いのは無理でキレイにしたいんです。クルマや部屋が汚かったり、身だしなみがだらしないかたたりする人は、ビジネスが上手くいかないことが多いです。これ、けっこうリアルに感じています。家がめちゃめちゃ汚いと仕事したら、時間にもルーズな感じするでしょ。だいたいビジネスを成功させている人ってキレイ好きですね。こだわりもあるし。ビジネス関係なしにしても、キレイにしておかなきゃいけないかなと思っっています。

モータースポーツが
盛り上がりれば日本の経済も
盛り上がる！

レースとの出会いは8歳のとき。ずっとクルマには乗りたいと思っていて、たまたまテレビで自分もレーシングカートに乗れるってことを知って、親父に連れいってもらったのがきっかけです。親父は寿司屋をやっている、クルマには全然興味を持っていませんでした。

F1のことは、セナが亡くなったときにはじめて知ったんです。そして17歳でヨーロッパに出てずっと海外でレースをしてきました。資金の問題でF1に乗ることができなくなり、12年ぶりに国内レースに復帰しました。F1はとにかく膨大なお金がかかります。海外だと国を代表するドライバーには国が支援したり、世界一の金持ちがスポンサーをしているんです。そもそもスポンサーせんでもチームまるごと買っちゃえばいいんだけどねっていうノリやから。そういう人たちの結婚式行くときです。テロがあるといけないうっていうんで、結婚式場の前に、戦車と機動隊がいるんですよ。僕どこに来たんかなって思いますよ。ロシアアグリニョにプーチン大統領が来るっていったら、スパイパーがそこらへんにいて監視していますから



ね。そんな中でカーレースやるってどないやねん（笑）！そのくらい海外では国を挙げて、カーレースを盛り上げています。

日本も歴史はあるんですけど、未だに暴走族の延長と想っている人が多いんです。残念ながら。日本はモータースポーツがなぜ大切なのか理解していません。モータースポーツが盛り上がりへんかったら、経済的にも落ち込むということも理解していません。思うんですよ。日本にはこれだけクルマが走っている、これだけ自動車会社があるんだから、いいクルマ作って、輸出して買ってもらうなければ、日本にお金は入ってこない。いいクルマを日本で作るのであれば、いいドライバーを育てて、いいメカニックを育てて、いいエンジニアを育てなければなりません。テレビ局が元気がなくなっちゃったってわかってるのも、自動車のCMがあまりやなくなっちゃったからですよ。昔は、カローラとかクラウンとかのCMもちゃくちゃちゃ見ましたもん。ずっと海外にいた僕が外からみると、今の日本において、モータース